

□就労継続支援 A・B 型事業所での作業風景

(＊踊り場理論：就労移行が最終目的)

【踊り場理論】 現代社会は様々な格差が生まれています。その中には就労機会と賃金などの格差が、あげられます。ちょっとしたつまずきで、社会で活躍したくてもできない“生きづらさ”を抱えた若者・貧困弱者”が大勢います。かといって彼らが、すぐに正規社員として働くのは、ハードルが高いと思われます。就労する前に一旦、簡易作業をしながら人の温もりを感じられる場＝「踊り場(階段と階段の間)」で就労の自信をつけてもらいたいと考えます。そして最終的には、正規雇用を目指していけるように応援したいと思います。(布村武信)

